

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年7月1日～2024年6月30日)



株式会社マルイチ

発行日：2024年8月23日

目 次

1. 会社の概要	・・・	P 2
2. 主な環境負荷の実績	・・・	P 2
3. 対象範囲（認証・登録範囲（予定））	・・・	P 3
4. 推進組織図及び役割・責任・権限	・・・	P 3～P 4
5. 環境経営方針	・・・	P 5
6. 環境経営目標	・・・	P 6
7. 環境経営計画	・・・	P 7
8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と その評価、並びに次年度の環境経営計画	・・・	P 8～P 9
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	・・・	P 9～P 10
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・	P 11
11. 環境活動への取り組み	・・・	P 12～13

1. 会社の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社マルイチ
代表取締役 西畠 信子

(2) 所在地

本社・資材倉庫 兵庫県南あわじ市湊988番地

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 海洋事業課課長
環境管理担当者 管理課員
連絡先 TEL: 0799-36-5305
FAX: 0799-36-5373

(4) 事業の概要

土木工事業、石工事業、舗装工事業、塗装工事業、解体工事業、
とび・土工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

(5) 事業規模

年間売上高 312百万円(2023/7月～2024/6月)

	本社	資材倉庫	合計
総従業員 2024.8.26現在	12人	0人	12人
延べ床面積	132.38㎡	77.27㎡	209.65㎡
敷地面積	1095.33㎡	1667.99㎡	2763.32㎡

(6) 建設現場等の概要 (2023/7～2024/6)

元請工事 9 件
下請工事 1 件

(7) 会計年度 7月～翌年6月

2. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	全社排出量		
		2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	96,356.4	41,292.5	86,213.4
廃棄物排出量	トン	529.0	57.0	2,037.9
一般廃棄物	トン	0.5	2.2	1.1
産業廃棄物	トン	528.5	54.9	2,036.9
水使用量	m ³	77.0	86.2	71.1

使用した電力の二酸化炭素排出係数:

2021年度は0.318 kg-CO₂/kWh(関西電力、2019年度の調整後排出係数)を使用

2022年度は0.311 kg-CO₂/kWh(関西電力、2021年度の調整後排出係数)を使用

2023年度は0.434 kg-CO₂/kWh(関西電力、2022年度の調整後排出係数)を使用

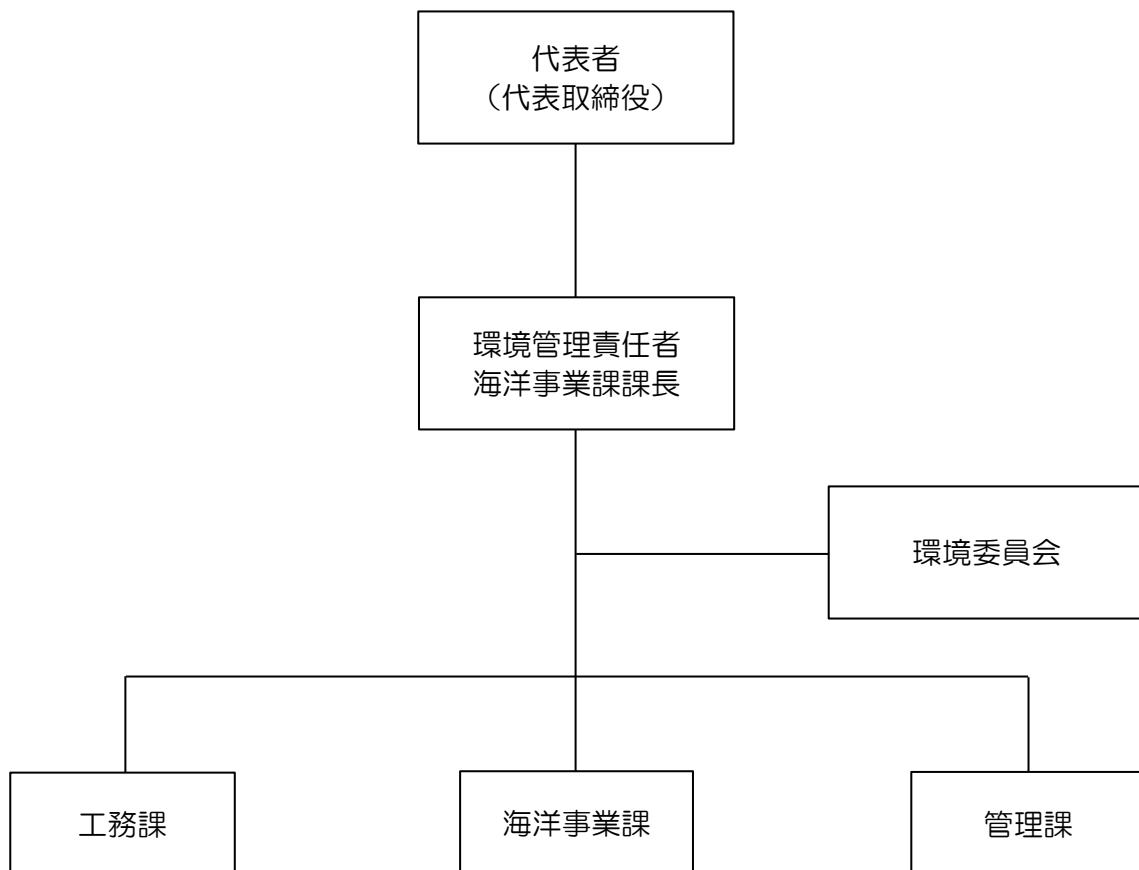
3. 対象範囲（認証・登録範囲）

事業活動： 土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、
塗装工事業、水道施設工事業

対象事業所：本社・資材倉庫

4. 推進組織図及び役割・責任・権限

【推進組織図】



【役割・責任・権限】

	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる ③環境経営目標、環境経営レポートを承認する ④資源（人・もの・金）の用意をする ⑤エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直し・指示を実施する
環境管理責任者	①エコアクション21建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21文書類の承認をする ④環境委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
環境委員会 管理課員	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④
部門長及び 全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う ②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する環境関連法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
作業所長	①作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる ②作業所の環境目標、活動計画の達成と実績の把握を行う

5. 環境経営方針

株式会社マルイチ 環境経営方針

当社は、経済活動における環境への影響を理解し、地域環境保全のため、自主的・積極的に環境負荷の一層の低減に取り組むと共に、従業員一丸となって継続的活動に取り組めます。

1. 当社は下記のとおり、事業活動に伴う環境負荷の低減、並びに工事施工時における環境配慮に努めます。
 - (1) 電力及び燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 水使用量の削減
 - (3) 廃棄物排出量の削減
 - (4) 環境に配慮した工事の推進
2. 関係する環境法規等並びに地元との約束等を遵守します。
3. 環境経営の継続的改善を図ります。
4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知し、社外へも公開します。

取組の重点分野

制定日：2022年 4月 1日
株式会社マルイチ
代表取締役 西畠信子

6. 環境経営目標

No.	環境経営目標	基準年度 2022年度実績		2023年度目標		2024年度目標		2025年度目標	
1	電力使用量の削減 (本社) ※1 (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 0.434	7,222	kWh	-1%	7,150	-2%	7,078	-3%	7,005
		3,134	kg-CO ₂		3,103		3,071		3,040
2	電力使用量の削減 (工事現場) ※1 (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 0.434	4,780	kWh	-1%	4,732	-2%	4,684	-3%	4,637
		2,075	kg-CO ₂		2,054		2,034		2,013
3	自動車燃料使用量の削減 ガソリン (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 2.32	5,275	ℓ	-1%	5,222	-2%	5,170	-3%	5,117
		12,239	kg-CO ₂		12,117		11,994		11,872
4	重機燃料使用量の削減 軽油 (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 2.62	9,815	ℓ	-1%	9,717	-2%	9,619	-3%	9,521
		25,322	kg-CO ₂		25,069		24,816		24,562
5	二酸化炭素排出量の削減	42,770	kg-CO ₂	-1%	42,343	-2%	41,915	-3%	41,487
6	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	88.1 ※2	%	+0.1 (%)	88.2	+0.2 (%)	88.3	+0.3 (%)	98.4
7	一般廃棄物排出量の削減	2162	kg	-1%	2140	-2%	2119	-3%	2097
8	水使用量の削減	86	m ³	-1%	85	-2%	84	-3%	83
9	問題発生を未然に抑える 取組の推進 ※3	—	%	評価ポイント 91ポイント(%) 以上		評価ポイント 92ポイント(%) 以上		評価ポイント 93ポイント(%) 以上	

(注) 化学物質は使用していないため、目標に設定していない。

※1 電力の二酸化炭素排出係数：0.434 kg-CO₂/kWh (関西電力、2022年度の調整後排出係数)

※2 産業廃棄物のリサイクル率の向上；再生量(48320kg)÷発生量(54874kg)*100=88.1%

※3 請け負った工事ごとに、現場代理人が「騒音・振動」、「水質汚濁」、「大気汚染」、

「建設廃棄物」に関する取組を項目ごとに点数評価し、下記の計算式でポイントを算出する。

ポイント(%) = 100×工事数×評価点数(実績)/工事数×評価点数(満点(4))

7. 環境経営計画

No.	環境経営目標	環境経営目標の達成手段	スケジュール					実施体制 (責任者)
			全期	春期	夏期	秋期	冬期	
1	電力使用量の削減 (本社) (CO ₂ 排出量削減)	1.空調機の温度設定(夏期:28℃、冬期:20℃)			○		○	管理課 課長
		2.昼休みの消灯 3.不要照明の消灯	○					
		4.離席時のパソコン電源OFF	○					
2	電力使用量の削減 (工事現場) (CO ₂ 排出量削減)	1.空調機の温度設定(夏期:28℃、冬期:20℃)			○		○	工務課 課長
		2.昼休みの消灯 3.不要照明の消灯	○					
3	自動車燃料使用量の削減 ガソリン (CO ₂ 排出量削減)	1.アイドリングストップの徹底 2.急加速、急発進の防止	○					海洋事業課 課長
		3.法定速度の順守 4.タイヤ空気圧の定期的点検	○					
4	重機燃料使用量の削減 軽油 (CO ₂ 排出量削減)	1.アイドリングストップの徹底 2.急加速、急発進の防止	○					工務課 課長
		3.法定速度の順守(ダンプ、トラック)	○					
		4.相乗りの励行(ダンプ、トラック)	○					
		5.タイヤ空気圧の定期的点検	○					
		6.過度な負荷をかけないアクセルワーク(重機)	○					
5	二酸化炭素排出量の削減	・NO.1～4 に従う						
6	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	1.建設廃棄物の分別徹底	○					工務課 課長
		2.不法投棄、不法処分リスクの無い処理業者への委託	○					
		3.保管基準の順守	○					
7	一般廃棄物排出量の削減	1.リサイクルを意識した一般ごみの分別	○					管理課 課長
		2.コピー紙の裏紙使用	○					
		3.詰め替え容器のある商品の選択	○					
8	総排水量の削減	1.水の流しっぱなしの防止	○					管理課 課長
		2.節水ステッカー貼付による節水意識の向上	○					
9	問題発生を未然に抑える 取組の推進	・ 請け負った工事ごとに、「騒音・振動」、「水質汚濁」、「大気汚染」、「建設廃棄物」について、適切な取組を実施(低騒音型重機使用、沈砂池の設置、排ガス第3次規制対応車使用、特定建設資材の100%リサイクルなど)	○					工務課 課長

8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

No.	環境経営目標 (環境経営方針との関連)	環境経営計画に基づき 実施した取組内容	評価 ※4	環境経営計画の実績 (2023年7月～2024年6月)			次年度の 環境経営計画	
1	電力使用量の削減（本社） (CO ₂ 排出量削減)	・ 昼休みの消灯	○	単位	kg-CO ₂		繁忙期の事務所PC稼働率が高かった	PCのオフ以外にもスリープ等も活用する
		・ 空調設定温度の励行	○	目標	3,103			
		・ 部分消灯及びこまめな消灯	○	実績	3,772			
		・ 離席時のパソコンOFF	△	達成率	82.3	%		
				達成状況 ※5	△			
2	電力使用量の削減（工事現場） (CO ₂ 排出量削減)	・ 空調設定温度の励行	○	単位	kg-CO ₂		現場事務所では酷暑等で空調の効きがよくなかった	サーキュレーター等を導入し空調効率向上を意識する
		・ 部分消灯及びこまめな消灯	○	目標	2,054			
		・ 離席時のパソコンOFF	△	実績	3,743			
				達成率	54.9	%		
				達成状況	×			
3	自動車燃料使用量の削減（ガソリン） (CO ₂ 排出量削減)	・ 急発進の防止	○	単位	kg-CO ₂		定期的にタイヤの点検等を実施できた	無駄な車載物の軽減など小さなところから燃費意識の向上に努める
		・ アイドリングストップ	○	目標	12,117			
		・ 相乗りの徹底	△	実績	8,948			
		・ 適正空気圧の確保	○	達成率	135	%		
				達成状況	○			
4	重機燃料使用量の削減（軽油） (CO ₂ 排出量削減)	・ アイドリングストップ	○	単位	kg-CO ₂		軽油使用の多い現場が続いたため、使用量が増加した。	作業内容に応じたエンジン回転数を意識したオペレーションを行う
		・ 作業内容に応じたアクセルワークの実施	○	目標	25,069			
				実績	69,749			
				達成率	36	%		
				達成状況	×			
5	二酸化炭素排出量の削減 ※1	No.1～No.4 に記載		単位	kg-CO ₂		No.1～No.4 に記載	No.1～No.4 に記載
				目標	42,343			
				実績	86,213			
				達成率	49	%		
				達成状況	×			
6	産業廃棄物排出量の削減 ※2	・ 建設現場での分別強化	○	単位	%		分別だけでなくリサイクルできるものへを意識できた	金属くすだけでなく廃プラなどの分別にも努めていく
		・ 金属くすの分別ボックス新設	○	目標	88.1			
				実績	99.8			
				達成率	113	%		
				達成状況	○			
7	一般廃棄物排出量の削減	・ コピー用紙の裏紙使用	○	単位	kg		紙ファイルやプラファイルの再利用率が向上した	A4以外の裏紙利用を促進していく
		・ 一般廃棄物分別の徹底による再資源化の推進	△	目標	2,140			
				実績	1,087			
				達成率	197	%		
				達成状況	○			

No.	環境経営目標 (環境経営方針との関連)	環境経営計画に基づき 実施した取組内容	評価 ※4	環境経営計画の実績 (2022年4月～6月)				次年度の 環境経営計画
8	総排水量の削減	・水の流しっぱなしの防止	○	単位	m ³		社内二次製品製作に使用する水量が多かった	散水や洗い水は雨水利用などを促進していく
		・節水ステッカー貼付	○	目標	85			
		・節水意識の向上	△	実績	71			
				達成率	120	%		
				達成状況	○			
9	問題発生を未然に抑える取組の推進 ※3	・工事における下記の環境配慮活動の実施		単位	%		環境配慮型機械の使用励行や充電電動式工具の利用率を向上することができた	各現場にてリサイクル資材が使用できる場合は積極的に活用する
				目標	91			
				実績	100			
		(1)騒音・振動の低減	○	達成率	110	%		
		(2)水質汚濁の防止	○	達成状況	○			
		(3)大気汚染の防止	○					
		(4)建設廃棄物のリサイクル	○					
実施体制		・実施体制（環境管理責任者、環境委員会並びに各目標ごとに設定された実施責任者）は有効に機能しており、これを継続する						

※1 灯油の値は含まれていない。（使用量が少ないため、目標に設定していない。2023年度は使用なし）

※2 産業廃棄物のリサイクル率の向上(実績)；100×再生量(2,032t)÷発生量(2,037t)＝99.8%

※3 問題発生を未然に抑える取組；ポイント(%)＝100×44点(実績)/44点(満点)＝100%

※4 評価

※5 達成状況：

○目標達成（100%以上）、△目標やや未達成（80%～100%未満）、×目標未達成（80%未満）

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

（1）当社に適用される環境関連法規等の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘もありません。

適用される法令等		主な遵守すべき内容 ※	遵守状況
1	廃棄物処理法	処理業者との適正な契約並びに業者の許可証有効期限の確認	遵守
		マニフェスト伝票の管理（法定記載事項、照合確認、5年間保存）	遵守
		廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守
		マニフェスト交付状況の知事への報告（毎年6月30日までに）	遵守
2	建設リサイクル法	特定建設資材の再資源化（コンクリート、廃木材、アスファルト等）	遵守
		元請業者の発注者への再資源化に関する書面報告、並びに再資源化実施状況の記録作成と保存	遵守
3	騒音規制法	特定建設作業の事前届出：指定地域内、工事開始7日以前	遵守
		特定建設作業は敷地境界線において、85dB(A)を超えないこと	遵守
4	振動規制法	特定建設作業の事前届出：指定地域内、工事開始7日以前	遵守
		特定建設作業は敷地境界線において、75dB(A)を超えないこと	遵守

適用される法令等		主な遵守すべき内容 ※	遵守状況
5	浄化槽法	毎年1回、指定機関による検査を受ける（11条検査：(ア)外観検査、(イ)水質検査、(ウ)書類検査）	遵守
		毎年1回、保守点検及び清掃の実施並びに記録の作成	遵守
6	消防法	防火管理者の専任（工場・倉庫・事務所は50人以上）及び所轄消防署長への届出	遵守
		消火設備の定期点検、消火器の有効期限少量危険物の届出、点検	遵守
7	フロン排出抑制法	空調機の簡易点検（3か月以内ごと）及び廃棄後3年間までの記録保存	遵守
		・廃棄時におけるフロン類の回収依頼書又は委託確認書の交付 ・回収依頼書又は委託確認書並びに充填回収業者が交付した引取証明書の3年間保存	遵守
8	自治体との災害時 応援協定	災害発生時に応援派遣する	設備・ 体制確認

※ 紙面の都合のため、主要な遵守すべき内容を抜粋し、簡略的に記載しており、詳細は「環境法規制等一覧表兼順守評価記録」で管理している

（２）環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等は、1件も発生していません。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年 8月 23日

代表者：西畠 信子

作成者：原口 弘美

見直しに必要な事項		環境管理責任者の報告	代表者による評価	変更の 必要性
環境経営 方針	環境経営方針に示された 環境への取組の基本的方 向は現在も適切か	環境経営方針は適切で ある	環境経営方針は変更し ない	☐ 有り ☒ 無し
環境経営 目標及び 環境経営 計画	環境経営目標・計画の達 成状況は妥当か ・課題とチャンス、・二 酸化炭素排出量削減、・ 廃棄物排出量削減、・水 使用量削減、・製品・ サービスの環境性能の向上	環境経営目標は「電力使用 量の削減」と「自動車燃料 使用量の削減」の項目が目 標未達成でした。 4・5月は事務業務が多かつ たこと、移動距離が長い現 場が多かったため。	外部要因である天候や 受注した現場の施工内 容に影響がされやす い。また社員の健康ま で考え、取り組んだ結 果である。	☐ 有り ☒ 無し
その他の 環境経営 システム	・環境負荷の大きな変化 ・法規制等の遵守状況 ・教育・訓練の実施 ・外部からの苦情や要望 ・実施及び運用の適切性 ・緊急事態への準備状況 ・取組の確認並びに是正処 置の状況 ・環境経営レポートの作成 と公表、活用状況	・外部からの苦情等はありませんでした。 ・法規制等の違反はなし。 ・ミーティングにより情報 の共有、意見交換を行っ ています。 ・是正処置については現在 なし。見直しは必要に応 じて改訂します。	毎年実施している安全 衛生大会や、社員たち による意識の変化、自 主的な行動の成果が表 れているものと考え る。	☐ 有り ☒ 無し
実施体制	実施体制は効果的であ り、変更の必要性はない か	実施体制は効果的であ る	実施体制は継続する	☐ 有り ☒ 無し
前回の代表 者指示事項 のフォロー アップ	各現場における責任者や社内における各管理責任者だけでなく、社内で業務に携わる全員が電気やガソリン・軽油などの燃料の使用とそれにとまなうCO2排出、また排出されるゴミに対する分別やリサイクルの意識を高め、特定の人間だけが実施するという状況にならないよう朝礼や会議での周知に努めた。			
代表者の 指示事項	各課を巻き込み、他人事でなく、自分事のように考え、実践をしていく為の仕組みを創りましょう。			
代表者の 総合評価 ※	我々の仕事は、外部環境である天候や受注した現場の内容に影響を受けやすいところがあります。目標値を達成しようとする動きは素晴らしいです。その反面数値に捉われているところもあります。我々は社員の健康や安全を第一に考えながら、我々に関するお客さまの為、地域社会の安全安心が生まれる社会インフラ整備に貢献する事業活動を行っています。これらの事も我々は認識を行い、数値だけでなく、我々の日々の行動や実践力を積み重ね、全員が社内における安心安全でかつ気持ち良い職場環境を形成して更なる成長に繋げていきましょう。そうすれば、無意識のうちに目標を達成できる仕組みが生まれます。			

※次年度以降への展開を重点に記載する

【環境活動の取組み状況】

地域河川清掃実施



社内ミーティングの様子



その他の取組み

室内照明のLED化

事務所照明をLE事務所不在時、電気を消して節電対策を行っております。



節電対策





サンシェイドの活用

日除けを行い、冷房効率をアップさせ省エネに取り組んでおります。



金属のリサイクル

鉄・廃材の回収をリサイクル業者へ依頼し、有効活用しております。



節水

社内掲示板にて節水を呼びかけ節水を実施しております。



AED設置

不測の事態に備えAEDを設置しております。

